

クラス日より

こひつじ1組

5月号

進級から1ヶ月以上が経過し、先日からは、じゃぶじゃぶ池や色水も始まり、今だからこぞ楽しめる環境に、大喜びする姿が見られています。

一気に暑さも増してきているため、体調不良にお気をつけください。

また、クラスの取り組みが非常に盛り上がってきています。廃材のご協力にも、心から感謝いたします。どのような活動を行ったか、お子様とも一緒に見て頂けると幸いです。

にんじんスープ作り！

虹色のうさぎさんに会うために、にんじんスープを作ることにした子どもたち。雨天のため、お買い物には行けませんが、無事クッキングを行うことができました。

そしていざ美食。「美味しい！」と初めは大喜び♡ところが、あまりにもにんじんの味が強かったからか、徐々に「やっぱりもういいかも……」と言う子も出てきました。

本来の目的は、虹色のうさぎさんに会うためだったので、給食後、みんなで紙皿に入れたにんじんスープを森に届けに行くことに。「コーンを置いて、他のクラスのお友達が触ったり食べたりしないように、表示しよう！」と事前に話していたため、その用意をして、スープをそと森に置きました。

すると早速子どもたちが「なんか音がする…！」と言い出し、みんなで耳をすませたり、「これ足跡かも！？」と発見した子どもたち。

とても興奮した様子で、中には「お祈りをしたら来てくれるかも！」と自らお祈りを始める子の姿もありました★お祈り後、お皿の様子を見に行き「なんか減ってる気がする…！」とまたも大興奮！お祈りしてはお皿を見に行く、を繰り返していました。

そんな外遊びを過ごし、ついにお片付けの時間。一部の子と一緒に職員室へ行き、「にんじんスープを森に置いてるので、無くなってたら教えてください！」と伝え、最後にみんなでスープの様子を見てからお部屋に戻ることにしました。

すると数分後、職員室から久保先生が「さっきお掃除したらね、スープのお皿が空っぽになったの」と空っぽになったお皿を持ってきてくれました。それを聞いた子どもたちは「キヤー！」「ほんまに来てくれたんや…！」と大喜び！誰一人疑うことなく、信じている姿がとても純粋で可愛らしかったです♡



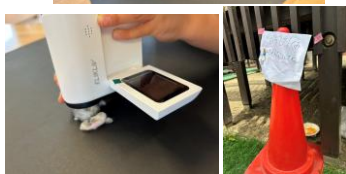
虹色のふわふわ発見！

～虹色のうさぎさんが住んでる世界って？～

「あとね、お皿の近くにこんなものが落ちてたんだけど、何か知ってる？」と手に持っていたのは、カラフルな色がついたふわふわでした。「虹色のうさぎさんの毛や…！」という子もいれば、「雲が虹を通して落ちてきたんじゃない！」「雲が落ちてきて、虹色のうさぎさんをこすったから、虹色になったんじゃない！」など、それぞれ様々な考えを持っていることがわかりました。

そのため、「虹色のうさぎさんってどんなところに住んでるんだろう？」と子どもたちに聞いてみました。すると、たくさんの素敵な世界を聞くことができたため、「みんなとても素敵な考えを持ってから、絵に描いて教えて欲しいな～！」と伝え、絵のお話を通して、一人一人の世界観を聞いていきました。

虹の世界や、空の世界、月の世界など、雲の上をイメージしている子が多く、どれも聞いていて、とてもワクワクしました♪そこから少しずつ、子どもたちは虹に興味を持つようになっていきました。



虹色の電車作り！

ある日、「そらとぶでんしゃ」という絵本を読みました。工作が大好きな主人公の男の子が、牛乳パックで電車を作っていた時、気がつくクレヨンたちと同じ大きさに！そこから、クレヨンの仲間たちと電車に絵を描き、虹色の電車に乗り込んで、虹色の線路の上を進んで空を飛ぶというお話でした。

虹から繋がった物語でもあったため、とても興味を持ったようで「作りたーい！」と声が上がりました。

翌日から早速電車作り開始…！ダンボールを切って窓やドアを作ったり、ガムテープで補強したり。

「電車作りが始まるけど、あと何を作たらいいかな？」と尋ねると「空を飛ぶから、空の絵もいるんちゃう？」「駅がある！あと改札も！」「タイヤとか、ブレーキのレバーとか、ハンドルもいると思う！」「駅の名前とか言うマイクもいる！」「線路とか踏切とか？」など、様々な意見が出ました。

たくさん出てきたため、私が「じゃあ、一つずつ順番に作ってこうね」と話を終えようとする、一人の子が「役決めたらいいんちゃう？」と提案★「いいね！」とその場で名前マグネットを使い、担当したいものを選びました。

その後の自由活動では、それぞれの役割を、自ら率先して取り掛かる姿があり、たくさんあった作りたーいものを、私の予想を上回る勢いで作ることができています。



今月の讚美歌・歌

♪ひとりひとりのなをよんで
♪にじ

クラスの取り組み

- * 食事について…
- ★お茶碗やお皿に手を添えて食べる。
- ★お皿についているご飯粒を最後まで集めて食べる。
- ★食べこぼしてしまったものを自分で拾う。